

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)枚方市楠葉花園町計画 新築	階数	地上14F
建設地	大阪府枚方市楠葉花園町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2021年8月5日
敷地面積	734 m ²	作成者	西井 久人
建築面積	373 m ²	確認日	2021年8月5日
延床面積	3,542 m ²	確認者	西井 久人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 当計画は低層部に信用金庫を設け、4階より上層はファミリー向け住居の計画となる。 建物外観に関して周辺の商業施設に馴染むよう明めのタイルと一部金属を用いることで調和を取る。 街路樹のある地域なので、敷地内の緑化に努め緑が連続して見えるよう計画されている。		その他
Q1 室内環境 居住者の健康・安全性を確保する為、内装材料等は全てF☆☆☆☆とする。 居室は昼光を多く取り入れるように努める。	Q2 サービス性能 多種多様な通信設備を採用し、居住者の通信環境の充実にも努める。 災害時の衛生・機械設備信頼性の確保に努める。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺のまちなみへ調和することを意識し、建物の外観を明めの色で仕上げたり、外構の緑化に努める。
LR1 エネルギー エネルギー消費量を基準値以下に抑えるよう努める。	LR2 資源・マテリアル 水資源消費量の低減、非再生資源使用量の削減に努める。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を採用しないことで、大気汚染の抑制を図る。 十分な駐輪・駐車場を確保することで交通負荷の抑制に努める。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0043

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)枚方市楠葉花園町計画 新築工事						
	建設地	大阪府枚方市楠葉花園町						
	用途/区分	事務所 集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						2	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告								
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				2.4	2	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.2	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.9	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	特になし						